



I 第32週の発生動向 (2024/8/5~2024/8/11)

- 手足口病については、すべての保健所管内で**警報**が継続しています。
- 伝染性紅斑については、上十三保健所管内で**警報**が継続しています。
- ヘルパンギーナについては、東地方+青森市保健所管内、弘前保健所管内及び五所川原保健所管内で**警報**が継続しています。
- 新型コロナウイルス感染症については、報告数の増加が継続していますので、基本的な感染対策の徹底をお願いします。

II 第32週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

	東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原 保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週 からの 増減
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科															
インフルエンザ	5	0.42							6	0.67			11	0.19	8
新型コロナウイルス感染症	110	9.17	113	9.42	86	7.17	49	7.00	97	10.78	67	11.17	522	9.00	134
小児科															
RSウイルス感染症	8	1.14	14	1.75	25	3.57	6	1.20	1	0.17	20	5.00	74	2.00	6
咽頭結膜熱	1	0.14			1	0.14					6	1.50	8	0.22	4
A群溶血性レンガ球菌咽頭炎	4	0.57	5	0.63	6	0.86	2	0.40	7	1.17	3	0.75	27	0.73	-14
感染性胃腸炎	9	1.29	15	1.88	30	4.29	6	1.20			1	0.25	61	1.65	30
水痘			3	0.38							1	0.25	4	0.11	-3
手足口病	197	28.14	126	15.75	163	23.29	97	19.40	118	19.67	35	8.75	736	19.89	-29
伝染性紅斑	11	1.57							9	1.50			20	0.54	3
突発性発しん	1	0.14	2	0.25	1	0.14			1	0.17			5	0.14	-1
ヘルパンギーナ	27	3.86	31	3.88			21	4.20	10	1.67	7	1.75	96	2.59	-57
流行性耳下腺炎											1	0.25	1	0.03	0
眼科															
急性出血性結膜炎															0
流行性角結膜炎															0
基幹															
感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
クラミジア肺炎															0
細菌性髄膜炎															0
マイコプラズマ肺炎											2	2.00	2	0.33	0
無菌性髄膜炎															0

感染症の窓

ダニ媒介脳炎

ダニ媒介脳炎は、ダニ媒介脳炎ウイルスを保有するマダニに刺咬されることによって感染する疾患です。

症状の現れ方は、感染したウイルスの亜型によって異なりますが、一例として、はじめにインフルエンザ様の発熱・頭痛・筋肉痛が現れ、一旦症状が回復した後、けいれん・めまいなどの中枢神経症状が現れます。

今年に入り、6月に札幌市より国内6例目、7月に函館市より国内7例目となるダニ媒介脳炎の患者発生について、公表されました。青森県ではこれまでダニ媒介脳炎が届出されたことはありませんが、以下のダニに刺されないための予防措置を講じることが大切です。

- ・肌の露出を少なくする (長袖、長ズボン、帽子、手袋等の着用)
- ・明るい色の服を着る (ダニを目視で確認しやすくする)
- ・虫よけ剤を使用する (ディートやピカリジンを含む忌避剤の使用)

さらに、野外活動後は入浴し、ダニに刺されていないか確認し、もし、ダニに刺された場合は、無理に引き抜こうとせず、ただちに皮膚科等で処置を受け、数週間程度は体調の変化に注意しましょう。

また、ペットを介してダニが屋内に持ち込まれることがありますので、ペットが外から帰宅したら、ダニがついていないか確認し、ダニが皮膚に食い込んでいる場合は動物病院で処置を受けましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。

☞ [ダニ媒介脳炎に関するQ&A\(厚生労働省HP\)](#)



【ダニが媒介する感染症】重症熱性血小板減少症候群(SFTS)・ダニ媒介脳炎・日本紅熱熱・つづが虫熱・ライム病 など

ダニに刺されないポイント

- 肌の露出を少なくする
- 明るい色の服を着る
- 虫よけ剤を使用する

ペットのダニ対策

- ダニ駆除剤の投与等について獣医師に相談。
- ペットが皮膚に食い込んでいる場合は動物病院へ。
- ペットを介して、室内にダニが持ち込まれることがあります。

ダニに刺されたときの対処法

- 無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科など)で処置(ダニの除去、処置など)を受けてください。
- ダニに刺された後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状があらわれた場合は医療機関で診察を受けてください。

実際に使えるもの

- ①ダニ駆除剤(ペット用)
- ②ダニ駆除剤(人用)
- ③虫よけ剤(人用)
- ④虫よけ剤(ペット用)

ダニ媒介感染症

厚生労働省 健康被害防止課

Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核(二類感染症)：弘前3人、上十三1人 (2024年計：59人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)：八戸市3人、上十三1人 (2024年計：15人)
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症(五類感染症)：弘前1人 (2024年計：10人)

Ⅳ 病原体検出情報 ※ () 内は、検査材料及び検体採取日 報告はありませんでした。

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況 (2024年第29週～2024年第32週)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
29		水痘(入院例)1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人 百日咳2人			
30		劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人		侵襲性肺炎球菌感 染症2人		腸管出血性大腸菌 感染症1人
31		レジオネラ症1人 カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感 染症1人	梅毒1人 百日咳2人			腸管出血性大腸菌 感染症1人
32		劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症3人		腸管出血性大腸菌 感染症1人	

Ⅵ 結核(二類感染症) (2024年第29週～2024年第32週) (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
29		1	1			
30		1	2			
31		1	1			
32		3			1	

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2024年第1週～第31週までの累計）

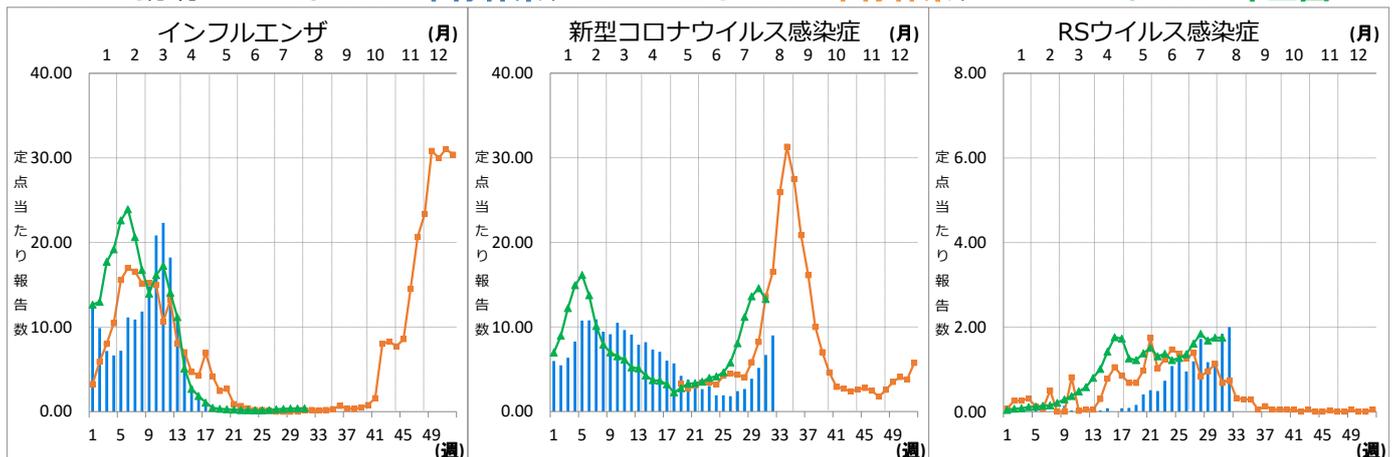
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокス症	エムポックス
累積報告数	9023	2	30	1645	24	4	321	92	6	15
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱
累積報告数	3	8	6	1	1	89	2	3	102	122
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類
疾病名	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢
累積報告数	206	1	4	1	28	18	2	1253	3	326
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症
累積報告数	132	1169	24	326	14	94	1304	595	25	406
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん
累積報告数	36	1616	282	8310	123	47	76	901	5	26
分類	五類									
疾病名	薬剤耐性アシネトバクター感染症									
累積報告数	3									

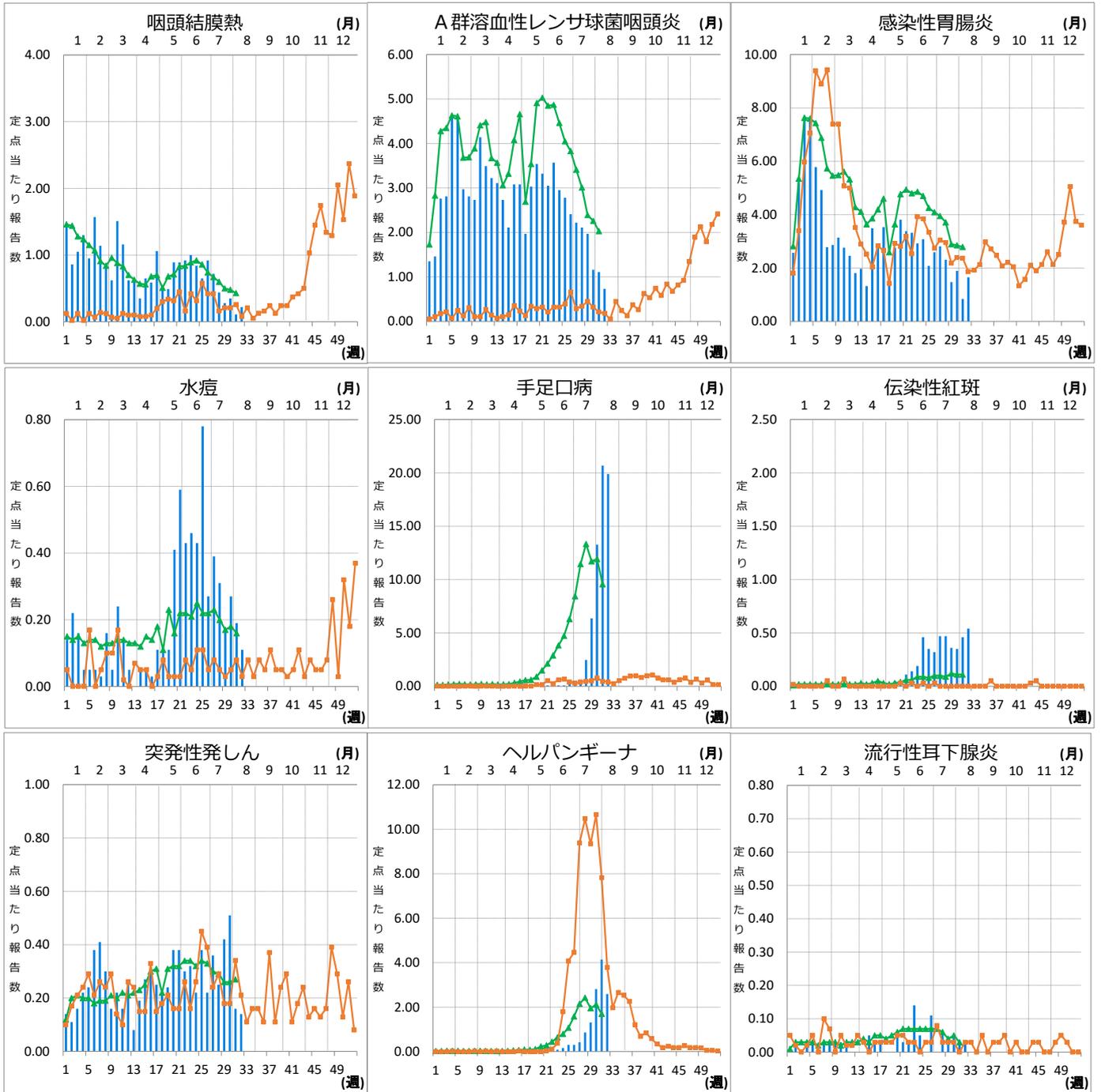
青森県（2024年第1週～第32週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	59	15	1	8	11	1	20	2	4	10
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類			
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風	百日咳			
累積報告数	1	2	15	3	15	2	16			

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2024年第32週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ■は2024年青森県、■は2023年青森県、▲は2024年全国





Ⅹ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2024年第32週、ただし全国は前週)

グラフの説明 **■**は2024年青森県、**■—■**は2023年青森県、**▲—▲**は2024年全国

